

職場復帰に向けた調整のための 効果的なアセスメントの方法



- 古野 素子 (障害者職業総合センター職業センター 主任障害者職業カウンセラー)
- 森田 愛 (障害者職業総合センター職業センター 障害者職業カウンセラー)

障害者職業総合センター職業センターとは

障害者職業総合センター（幕張）

職業センター

**支援技法
開発・改良**

研究部門

研究

その他、広報、啓発等

職業リハビリ
テーション部

研修

発達障害、精神障害、高次脳機能障害の方々や事業主等に対しより良い支援を提供するために、職業リハビリテーション技法の開発、改良、普及を行っている



普及

バックアップ

○技法開発のためのプログラムを実施

ジョブデザイン・サポート プログラム (JDSP)

気分障害等による休職者に対して職場への再適応を支援する職場復帰支援プログラム

地域障害者職業センター



地域の
職業リハビリ
テーションに
関連する
関係機関

・
人材

1 はじめに

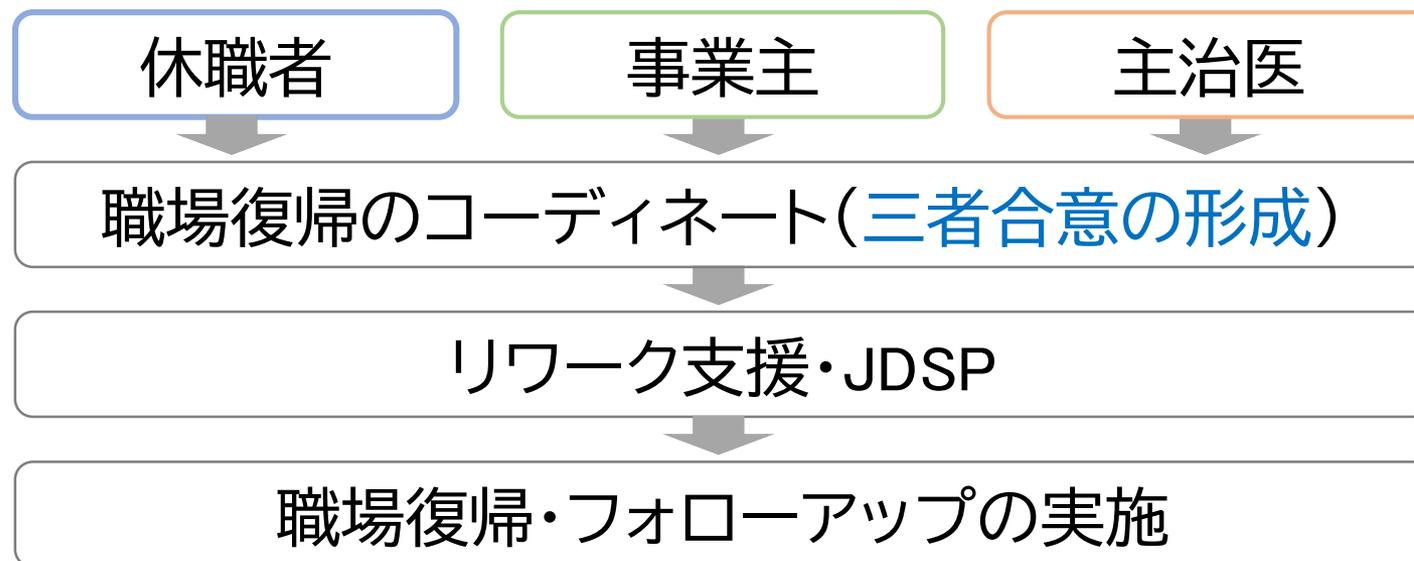
令和6年度の取組

- 職場復帰や職場再適応に向けた課題や目標等
に関して
**休職者・事業主・主治医の間における共通認識
を形成するための効果的なアセスメントの
実施方法**を検討する
- 今回は以下について中間報告を行う
 - ・現在の課題点やニーズの整理
 - ・今後の方向性(支援ツールの改良等)

2 背景

本報告での「職場復帰支援」

= 職業リハビリテーション機関で実施している**三者合意の形成**を図ったうえで行う支援のことを指す



課題や目標
共通認識を
持つことが
重要

● アセスメントの実施方法…体系的に整理されていない

3 課題点やニーズの整理

- 職場復帰に向けて課題や目標等を整理するために、休職者・事業主・主治医から情報収集する上で難しさを感じることもあるといった回答が多かった

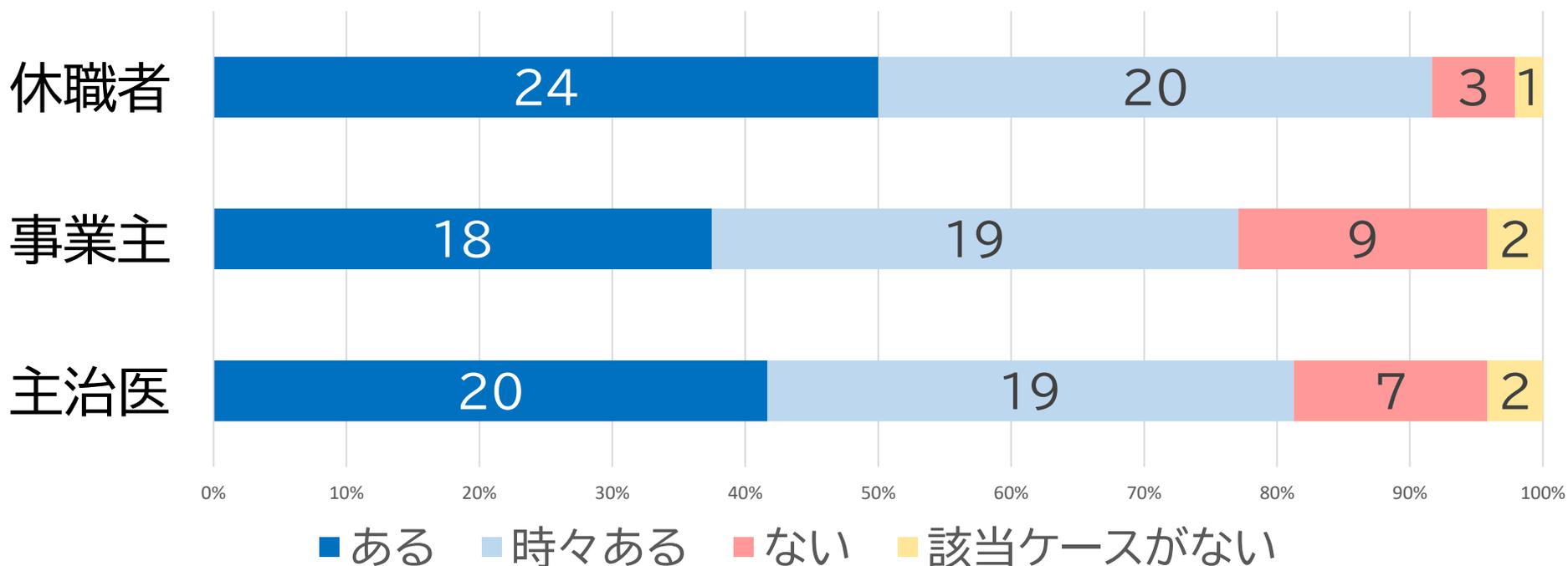


図1 情報収集する上で難しさを感じることの有無 (n=48)

表1 具体的な難しさや苦慮していることの例(抜粋)

休職者 との 調整	情報収集・整理の難しさ	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の頃の相談時に本音や事情、経緯など話されない、自己開示されない ・本人の話だけでは事実が把握しづらい
	認識の不一致	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者が認識している状態や課題認識、不調に至った原因の認識が事業所や主治医と異なる
	動機づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所からリワーク支援を勧められたが本人は支援を受けることに消極的
事業主 との 調整	事業所内の情報共有・ 情報収集への協力依頼	<ul style="list-style-type: none"> ・人事／本人直属の上司／産業保健スタッフ／産業医等、それぞれ対象者に求める復職の条件や考えが異なることがある
	目標設定(期待との調整)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の休職者への要求が高い、性格や特性変容を求める場合
主治医 との 調整	主治医との情報共有・ 協力の得方	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医が多忙、診察時間が短く考えを聞きづらい
その他	リワーク担当カウンセ ラーの不安	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような情報を収集するといいいのか整理できていなかったり、場当たりの対応になってしまうことがある

- 職場復帰支援を担当している障害者職業カウンセラー及びリワークカウンセラー(31名)に対してグループヒアリングを実施 (R6.5~6月)

表2 職場復帰支援を担当する者にとって参考になること

職場復帰にむけた調整において参考になる工夫点・留意点

- ・ 支援計画を立てるための**情報収集・情報共有の方法**や工夫
- ・ **コーディネートの手順や考え方**、実施にあたっての工夫
- ・ 休職者本人や事業主に対する**説明**の工夫
- ・ 休職者本人に対するリワーク支援への**動機付け**の工夫
- ・ 事業主との復帰に向けた**調整の工夫・留意点**

➡ これらの意見をふまえて、職場復帰に向けた情報を整理・共有等に活用してきた支援ツールを改良

4 支援ツールの改良にあたっての検討・ポイント

らしく、
はたらく、
ともに

JEED

(1) 支援計画を立てるための情報収集・共有の方法や工夫

- ・休職者が自分で自律的に考えたり、選択や判断をして、職場復帰に向けた行動(アクション)を進めていけるよう「**主体性**」を**支援**する

POINT!



- ・そのために必要な情報を収集し、整理することができるよう、**休職者本人が**事業主や主治医に自分の状況や考え、不明点等を「聞く」「伝える」ことができるよう支援する

●情報共有シート

情報共有シート

障害者職業総合センター
担当：〇〇
TEL: 000-000-0000
e-mail: ojpp@jeed.go.jp

職場復帰支援を行うにあたり、支援の方法や方向性を検討する参考にさせていただくために、ご本人様と事業所ご担当者様へ本シートの作成についてご協力を願います。

◆事業所ご担当者様
項目により、複数の方にご記入いただいても構いません。
本シートへの記載事項や復職条件等に係る確認のため、当センター職員よりご担当者様へご連絡させていただく場合がございます。

氏名			生年月日	年 月 日 (歳)	
住所	〒 [最寄り駅 線 駅]		連絡先(電話番号)		
事業所名			所属部署	役職	
事業内容 従事業務					
勤務地	〒 [最寄り駅 線 駅]		通勤時間	移動手段 : 時間 分	
勤務日数	週 日	勤務時間	: ~ :		
通院先			主治医	通院頻度	
事業所 担当者	窓口となる方に「○」		氏名・役職	連絡先(電話番号)	備考
			人事担当		
			健康管理スタッフ		
			上司		
			産業医 その他		
休業開始日	年 月 日	現在の状況	有給休暇・病気欠勤・休職・その他()		
事業主の定める 休職期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (年 か月間)	休職回数	回目		
休職中の収入	休職前の収入の % (支給期間 年 月 月まで)		備考		
事業主の 職場復帰に 対する考え	リワーク利用	必須 ・ 必須ではない	リワーク報告会	必須 ・ 必須ではない	
	定期報告	必須 ・ 必須ではない		中間 ・ 終了	
	復職前のリハビリ出席	必須 ・ 必須ではない ・ 制度なし			
	その他				

	事業主の考え	備考
職場復帰後 当面の間の 取扱い	時間外勤務 (原則禁止 ・ 制限あり ・ 制限なし)	
	休日出勤 (原則禁止 ・ 制限あり ・ 制限なし)	
	宿泊を伴う出張 (原則禁止 ・ 制限あり ・ 制限なし)	
	勤務時間の軽減 (1日 時間から開始可能)	
	勤務日数の軽減 (週 日から開始可能)	
	配置転換 (可能性あり ・ 原則不可)	
	職務調整 (調整の余地あり ・ 調整の余地なし)	
その他 ()		
職場復帰 の流れ	[例]主治医の職場復帰可能の判断→産業医面談→復職	
職場復帰可否の 判断基準	[例]リワークの出席率●%以上、十分な就労意欲がある、安全に通勤できる、疲労が翌日までに回復する、日中の眠気がない、業務遂行に必要な注意力や集中力が回復している、その他達成して欲しいと思われることなど。	
休職前の 業務内容・ 業務遂行状況	[例]データ分析、提案書作成(PC使用)、Excelスキルはあり、図表を活用して提案書作成はできているが、締切間近の提出が続いていた。	
リワークの中で ご本人に 取り組んで欲しいこと	[例]①指示通りに業務を遂行できるようになる、②進捗報告、体調不良等の不安なことについて相談ができるようになる。 ※ 複数の事項がある場合には、優先順位を記載してください。	
ご本人の 職場復帰に 対する考え	[記載項目例] 復職時期、配置先、職務内容に関する希望など	

(2) 支援方針の検討のためのアセスメントの工夫

● ケースフォーミュレーションの試行

支援計画を立てるための情報整理シート

属性情報		生活習慣・健康状態		ストレス・疲労	
氏名・年齢		喫煙状況		性別	
所属部署		食事		ストレス・疲労の状況	
住所		運動		ストレス・疲労のサイン・対応	
家族状況		睡眠		本人が考えうる目標	
収入状況		飲酒・喫煙			
その他		本人が考えうる目標			
支援課題		支援課題		支援課題	
事業主情報		コミュニケーション		仕事の取組み方・働き方	
社名/部署		得意		得意	
担当者				やりがい・満足感	
依頼までの流れ				作業量/ペース	
依頼前の業務					
その他		本人が考えうる目標		本人が考えうる目標	
支援課題		支援課題		支援課題	

支援者の

- ・情報整理に
- ・振り返りに
- ・所内で、あるいはDr等に助言を得る際に役立つツール



● ケースフォーミュレーションシート

再休職予防を考える視点から「**環境**」と「**個人**」の要因に分けて 情報を整理し、今後の支援方針検討に活用

ケースフォーミュレーションシート ～再休職予防を考える視点から情報を整理し今後の支援を検討する～

環 境	【職場】 (業務の特徴、職場復帰時に求められること、事業場内外のサポート 等)	【医療機関】 (通院、服薬状況、主治医に対する本人の見え方、カウンセリングの有無 等)	【家族・社会資源】 (相談やサポートを求められることのできる相手の状況)	【その他】
	環境 …職場や家族、医療機関や社会資源の状況等			
支 援 を 考 え る	【検討事項】	【支援方針(支援期間後半の支援目標、取組課題)】		
	【課題の背景・要因】 (本人の見立て・見え方、支援者の見立て 等)	【支援期間前半でのアプローチ状況(成したこと、取り組んだこと)】		【その他】
個 人	個人 …認知面・身体面・本人の見立て、支援者の見立て等			

5 今後の方向性

- JDSPにおいて実践を重ねて検証
あわせて、活用事例や地域センターにおいて応用された取組など好事例を収集



- R7.3

実践報告書

発行予定

- 職場復帰に向けた調整のための
- ・ 効果的なアセスメントの実施方法
 - ・ 工夫点や留意事項
- …等取りまとめ予定

少しでも、皆さんに使っててもらえる支援のヒント、手がかりになれば幸いです！

